

水中火山岩研究会 第1回研究集会、巡検 報告

去る平成30年10月18日(木)に、札幌市真駒内にて研究集会と巡検を実施しました。

その状況をご報告致します。

概要

- ・研究集会

日時：2018年10月18日(木)10:00～12:00

会場：セキスイハイムスタジアム第三会議室（札幌市南区真駒内公園3-1）

話題提供：小樽周辺や札幌市藻南公園のハイアロクラスタイトなどについて

4名の方々が話題提供

- ・藻南公園、石山石材採掘跡の巡検

日時：2018年10月18日(木)13:20～16:00

研究集会

下記の話題提供がありました。

- ・小樽の地質やハイアロクラスタイトに関して

松田義章（北海道教育大、北海道総合地質学研究センター）

- ・札幌市藻南公園のハイアロクラスタイト

山岸宏光（シン技術コンサル）

- ・秋田県中部に分布する水中火山岩の産状と物性値の関係

鈴木聡（奥山ボーリング）

- ・藻南公園巡検 ～豊平川の河川地形を学ぶ～

関根達夫（北海道総合地質学研究センター）



写真-1 水中火山岩研究集会の様子

巡検（その1 藻南公園）

藻南公園の東側を流れている豊平川の河床や右岸に分布する露頭を見学しました。

ここには、新第三紀鮮新世西野層のデイサイト質水中火山岩類やその下位の泥岩類が見られます。



写真-2 豊平川右岸に露頭するハイアロクラスタイト（Stop1）

級化構造や逆級化構造が見られる。各ユニットは上流側に傾斜している。この傾斜方向は形成時の給源部からの堆積(フォアセットベッド)を反映し、下流側が給源部となっている可能性がある。



写真-3 右岸河床付近に見られる
給源岩脈 (Stop2)

接触部付近では岩枝状に周囲の基質部に入り込んでいる様子も伺えた。



写真-4 右岸河床部に露頭するにせピロー (Stop 2)

多角形であり、チルドマージン(急冷周縁相)がある。一方で、ピローラバーのように集合体を形成せず単独で分布し、基質部と明瞭な境界を示す。



写真-5 河床に露頭するラバーローブ (Stop 2)



写真-6 河床に露頭するハイアロクラスタイト(上)と泥岩層(下) (Stop 2)

ハイアロクラスタイトの上部ではほぼ単源礫であったのに対し、泥岩との接触部周辺(下部)では、泥岩礫を含み多源礫である。

巡検（その2 石山軟石採掘場跡）

約4万年前に巨大噴火した支笏火山の火砕流堆積物が分布。溶結凝灰岩の部分が札幌軟石として採掘され、現在は公園や芸術の舞台として利用されている。



写真-7 軟石採掘跡地に形成された芸術空間（Stop3）

背後には支笏火砕流の露頭が分布。非溶結部と溶結部の境界は明瞭である。



写真-8 石材の近接写真 (Stop 3)

溶結作用により軽石が扁平になっている。



写真-9 溶結凝灰岩に鉛直に

発達したガス抜けパイプ (Stop3)

火砕流堆積物中に取り込まれたガスが上方へ抜ける際に起きたチャネリングによって生じた脱ガスパイプ(ガス抜けパイプ)と考えられる。

最後に

この企画については、山岸先生や関根氏に研究集会や巡検のための準備や話題提供をいただきました。また、松田先生には急遽、研究集会での話題提供を行っていただきました。ここに御礼申し上げます。また、今後は別の地でも研究集会や巡検を企画していきたいと考えております。その際には皆様のご参加をお待ち致しております。

(文責 事務局 鈴木聡)



写真－10 水中火山岩研究集会、巡検参加者集合写真

豊平川のハイアロクラスタイト露頭と、花魁淵（砂岩や泥岩などが浸食により形成した滝）を背景に撮影。

水中火山岩研究集会、巡検ルートマップ

